



能登半島地震派遣特集

謹んで災害のお見舞いを申し上げます。
令和6年能登半島地震の被災地応援

建物被害認定調査のため、市から2人の職員が派遣されました

問 危機管理課 ☎ 82-1304 / IP ☎ 88-9070

建物被害認定調査とは

被災地では、地震によって倒壊したり、倒壊の危険がある建物が多数発生しました。それらの建物の外観や構造、基礎の状態、壁や柱の傷み具合などを詳細に調査し、必要に応じて測量や画像撮影などの作業を行います。被災地の復興に向けて不可欠な作業です。危険な建物への適切な対応や早期復旧が行われることで、地域全体の安全と安心を確保することができるようになります。

人の強さを再確認した瞬間

私たちは、穴水町での建物被害認定調査にあたりました。現場では、倒壊したり倒壊の危険がある家屋の診断が行われていました。穴水町は、まだ断水が続いており、ひび割れた道路や土砂崩れ、倒れた電柱も見受けられました。倒壊を免れた家屋には住んでいる方もおられ、私たちが伺うと「遠くからありがとうね」など、苦しい状況にも関わらず、温かい言葉をかけてくれる住民の方々に「人間の力強さ」を感じた瞬間でした。

実際の現場から見える課題

現地の職員たちは休日も昼夜問わず奮闘し、被災地の状況に即した支援物資の配分や人員配置など、地域の専門知識が不可欠であることを、現地での活動を通じて痛感しました。災害時にどのように動くかといった想定をしておくことも大切ですが、やはり職員だけでは難しい部分もあり、地域の方々との協力、連携についての必要性を強く感じました。もしもの時には、市民の方々を合わせていければと思っています。

危機管理課からの防災メッセージ 安全な場所の再確認を

防災グッズの点検や備蓄食料の賞味期限などを確認してみてください。また、もしもの時に自分が避難すべき避難所の場所やハザードマップの確認など、日頃からの準備が不可欠です。もし逃げ遅れてしまった場合など、家の中の安全な場所はどこだろうと考えておくことも大切です。一人ひとりが安全を確保し、助け合いながら行動して命を守りましょう。



震災対策 日常の心得

- ☑ 家具類の転倒・落下防止対策をし、出入り口や通路に物を置かないようにしましょう。
- ☑ 避難場所までの安全な避難方法やルートを確認しましょう。
- ☑ 非常持ち出し品を準備し、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。

宇陀市立病院

災害派遣医療チームDMATが出勤しました

DMATとは

災害派遣医療チームという意味の Disaster Medical Assistance Team の頭文字を取って「DMAT」と呼ばれています。災害時に医療支援を提供するために組織された専門チームで、災害が発生した場合に、迅速かつ効果的な医療支援を提供するために活動し、災害現場で負傷者の治療、医療設備の設置、救急輸送の実施など、様々な任務に従事します。

宇陀市立病院災害派遣医療チーム DMAT



駒井悠一 看護師
鴻池雅美 看護師
本田歳子 看護師
金田沙織 医師
西尾健治 医師

安心を届けたい

普段の診療とは違い、患者であり被災者でもある方々の声を聞く中で、どのようにお声をかければいいのか悩む場面もありました。

西尾医師からの防災メッセージ

私はこれまで様々な災害現場に医療支援に行きましたが、やはり**非常用の持ち出しバッグ**の重要性を感じました。また、災害時に家族が揃っているとは限りません。自宅だけでなく、職場や学校で災害にあった時にはどこに避難するのかといったことも家族で話し合いましょう。災害時にインターネットが利用できない時、伝言ダイヤルは有効なことが多いです。伝言ダイヤルのかけ方を把握しておくといでしょう。

災害用伝言ダイヤル



詳しくはこちら

派遣消防士が見た被災地 海水を使った消火活動

私たちは、輪島市で起きた大規模な火災の残火処理にあたりました。私たちが到着したとき、まだいたるところから煙が出ているような状態でした。通常、消火活動は消火栓や防火水槽からの水を利用します。しかし、現場は断水で危機的状況でしたが、海に近い場所でしたので海水を消火に活用することができました。もし、海水がなければ・・・と思うと背筋が凍る思いでした。

まずは「消火することが最優先」です。でも「もしかしらこの下に人がいるかもしれない」と思いながらも、水をかけ続けなければならず、助けられなかった命がそこにあるかもしれない、ということがとてもつらかったです。

命を守る地域の力

他の震災でも同様ですが、能登半島地震でも地域のつながりで連絡をもらい、倒壊建物に閉じ込められた方の救助ができたという事例がありました。備蓄といった個人的な防災対策も大切ですが、それに加えて、地域のつながりを大切にしておくことも防災対策の重要な要素だと思います。



令和6年能登半島地震
現地リポート



奈良県広域消防組合
宇陀消防署
中谷 太一さん



特集

市政トピックス

うだちから

まちのわだい

みんな子育て

病院・あんしん

お知らせ

掲示板

うだチャン



備えて安心 地震対策!

自宅における備蓄品・避難時の持ち出し袋

避難リュックに入れて持ち出すもの

- 飲料水 □健康保険証等 □懐中電灯
- 保温アルミシート □メモ用紙・ペン □新聞紙
- 歯ブラシ □ウェットティッシュ □生理用品
- ラジオ □携帯電話の充電器 □ビニール袋
- 防寒具・雨具 □タオル・靴下 □応急医療品
- 携行食（ビスケット、チョコレート） など

避難所などでの感染症対策に

- マスク □体温計 □アルコール消毒液 など

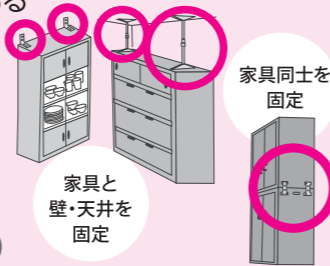
自分にしかあわないもの

- 常備薬 □コンタクトレンズ □入れ歯 など

耐震化はお済みですか?

家具を固定して被害を防ぎましょう

地震で起こる家具の動きは、家具の種類や設置状況などにより様々です。家具類がどんな動き方をしているのかを知っておき、地震対策に生かしましょう。



家の耐震化

市では既存木造住宅の「耐震診断」や「耐震改修補助」を行っています。実施の募集期間は広報うだや市ホームページにてお知らせしています。

地震発生時の行動を確認!

地震が発生する前に

シェイクアウト訓練をしよう!

シェイクアウト訓練は、地震の際の安全確保行動を身につける訓練です。①②③の安全確保行動を1分間行ってください。ご家庭だけでなく、職場や学校でも訓練しましょう。



地震発生時の行動パターン

避難生活では	～3日程度	10分～数時間	5～10分	5分	3分	1～2分	地震発生
<ul style="list-style-type: none"> ● 3密を避け衛生管理に注意する ● 自主防災組織を中心に行動する ● 集団生活のルールを守る ● お互いに助け合う 	<ul style="list-style-type: none"> ● 壊れた家には入らない ● 生活必需品は備蓄でまかなう ● 避難所で生活する ● 余震に注意 ● 家屋倒壊などの恐れがあれば、避難する 	<ul style="list-style-type: none"> ● ラジオなどで正しい情報を確認 ● ラジオなどで正しい情報を確認 ● ラジオなどで正しい情報を確認 ● ラジオなどで正しい情報を確認 	<ul style="list-style-type: none"> ● さらに出火時防止する ● ガスの元栓を閉める。 ● 電気のブレーカーを切る。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ラジオなどで正しい情報を確認 ● 家屋倒壊などの恐れがあれば、避難する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 隣近所の安否を確認 ● 余震に注意 	<ul style="list-style-type: none"> ● 火元を確認し、出火時は消火 ● 家族の安全を確認 ● 靴を履く ● 非常持出品を手近に用意 	<ul style="list-style-type: none"> ● 落ち着いて、自分の身を守ろう ● すばやく火の始末をしよう ● ドアや窓を開け、逃げ道確保

情報を得る手段を事前に確認!

災害時に適切な行動を取るためにあらかじめ自分が必要とする情報入手方法について確認しておきましょう。

安全・安心メール

気象警報発令や避難情報等をメールでいち早くお知らせします。

登録がまだの方はこちらから



ガラケー



PC・スマホ

災害時生活用水協力井戸の登録募集

ご協力をお願いします



詳しくはこちら

災害対応

令和6年能登半島地震 宇陀市の取り組み

人的支援

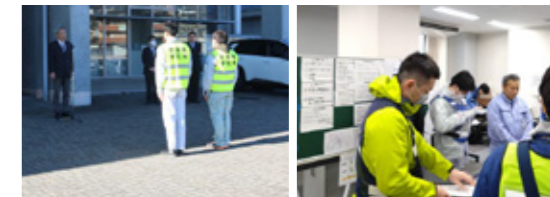
応援派遣 避難所運営業務支援



日時：1月30日～2月8日
派遣人数：職員2人
場所：石川県鳳珠郡穴水町
業務：避難所運営職員の補助（散乱した施設内図書館の片づけ、炊き出し補助、支援物資搬入補助など）

人的支援

応援派遣 建物被害認定調査業務支援



日時：1月17日～25日（その後も要請に応じて応援派遣を行っています）
派遣人数：職員2人
場所：石川県鳳珠郡穴水町
業務：建物災害を受けた、木住家造の一次調査（外観のみ）等

人的支援

DMAT隊の派遣



奈良県DMAT隊の第2陣として市立病院から医師・看護師5人が派遣されました。
日時：1月10日～14日
派遣人数：医師2人、看護師3人
場所：石川県立中央病院（金沢市内）
業務：病院の支援および患者の搬送業務

人的支援

応援派遣 保健師



被災者の健康管理などが十分に行えない状況にあるため、奈良県より支援要請があり、市健康増進課により職員を派遣し、支援にあたりました。
日時：2月17日～23日
派遣人数：職員1人
場所：石川県鳳珠郡能登町
業務：避難所における住民の健康管理・衛生管理など

支援準備

災害救助犬についての締結式

今後30年以内に発生する確率が70%～80%と言われている「南海トラフ地震」に備え、市では東日本大震災が発生した日に合わせて、3月11日、生駒警察犬訓練所内救助犬訓練チーム 公益財団法人「SAR-DOG CWC」と災害救助犬出動に関する協定を締結します。



物的支援

義援金の受付について

被害を受けられた被災者を支援するため、市役所をはじめ市内9か所に義援金箱を設置し、義援金の受け付けを行っています。

ふるさと納税代理寄附受付

災害規模の大きい石川県珠洲市、七尾市、志賀町、穴水町のふるさと納税業務を代理で行っています。

「代理寄附」とは、被災していない自治体が被災自治体の代わりに寄附を受け付ける仕組みです。被災自治体は寄附金受領証明書発行等の業務負担を大幅に減らし、優先度の高い災害対応に注力できます。



ふるさと納税代理寄附